

2020 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2791600436		
法人名	ベタープレイス株式会社		
事業所名	グループホームめいの家		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府吹田市五月が丘北6-12		
自己評価作成日	2021年1月15日	評価結果市町村受理日	2021年3月5日

【事業所基本情報】(介護サービスの情報公表制度の基本情報リンク先URLを記入)

https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigvoCd=2791600436-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 介護保険市民オンブズマン機構大阪
所在地	大阪府大阪市東成区中道3-2-34(JAM森の宮事務所2F)
訪問調査日	2021年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

この一年コロナと闘い、じっと我慢の日々で、めいの家得意のイベントも自治会や子供達との交流もなく過しました。それでも何か楽しいことをとピザを焼いたり、焼き芋したり、かき氷を作ったり、駐車場をフル活用した。何が起ころうと、ひっこまないで、あきらめないで、探し続けることができる強い気持ちのスタッフがいっぱいいてくれて、ここから形を変えて、ワクワクを見つけていこうと意欲に燃えています。旅行も全てのイベントは中止しましたが、鳥居を作ったり、サンタのソリを作ったりして季節をお届けすることで、今までにない“楽しいこと”に出会えました。まだまだやれることはある！力の入れかたが変わるだけ。それを楽しむ2021年にしようと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長年、管理者として運営に携わった代表が、利用者・家族・職員への熱い思いから自分で事業を経営するようになったグループホームです。。代表の揺るぎない考えは職員にも浸透し、「Be Smile・Be Happy(笑顔で幸せに)」の理念を掲げ、出逢ったみんなの「夢叶う明日」に取り組んでいます。職員の業務表や一日の流れ等のマニュアルはなく、「日常を決めるのは利用者」の考えで、利用者の自由な暮らしを支えています。家族や地域住民の協力の下、夏祭り、文化祭、クリスマス会、餅つき等、年間を通してさまざまなイベントを企画し、地域住民や子ども達に喜んでもらってきました。コロナ禍でイベントは中止の状態ですが、クリスマスには、医療や介護従事者へのエールを込めてブルーライトのイルミネーションを輝かせ、例年より多くの人たちが眺めてくれました。利用者一人ひとりの「今」を大切に、今できる事の中から楽しい事を見つけ、笑って過ごせる毎日にしようと、代表以下職員一丸となって取り組んでいます。家族会も応援団として大きな力を発揮し、不要不急の外出・外食を控えてコロナ感染を抑止し続けてくれている職員に感謝の声が寄せられています。、マイケルジャクソンの「ヒールザワールド」の曲からつけた会社名。この曲が伝えている「すべての人たちのために、いい場所に」がここにあると思うホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

2020 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2791600436		
法人名	ベタープレイス株式会社		
事業所名	グループホームめいの家		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府吹田市五月が丘北6-12		
自己評価作成日	2021年1月15日	評価結果市町村受理日	2021年3月5日

【事業所基本情報】(介護サービスの情報公表制度の基本情報リンク先URLを記入)

https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigvoCd=2791600436-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 介護保険市民オンブズマン機構大阪
所在地	大阪府大阪市東成区中道3-2-34(JAM森の宮事務所2F)
訪問調査日	2021年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

この一年コロナと闘い、じっと我慢の日々で、めいの家得意のイベントも自治会や子供達との交流もなく過しました。それでも何か楽しいことをとピザを焼いたり、焼き芋したり、かき氷を作ったり、駐車場をフル活用した。何が起ころうと、ひっこまないで、あきらめないで、探し続けることができる強い気持ちのスタッフがいっぱいいてくれて、ここから形を変えて、ワクワクを見つけていこうと意欲に燃えています。旅行も全てのイベントは中止しましたが、鳥居を作ったり、サンタのソリを作ったりして季節をお届けすることで、今までにない“楽しいこと”に出合いました。まだまだやれることはある！力の入れかたが変わるだけ。それを楽しむ2021年にしようと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長年、管理者として運営に携わった代表が、利用者・家族・職員への熱い思いから自分で事業を経営するようになったグループホームです。。代表の揺るぎない考えは職員にも浸透し、「Be Smile・Be Happy(笑顔で幸せに)」の理念を掲げ、出逢ったみんなの「夢叶う明日」に取り組んでいます。職員の業務表や一日の流れ等のマニュアルはなく、「日常を決めるのは利用者」の考えで、利用者の自由な暮らしを支えています。家族や地域住民の協力の下、夏祭り、文化祭、クリスマス会、餅つき等、年間を通してさまざまなイベントを企画し、地域住民や子ども達に喜んでもらってきました。コロナ禍でイベントは中止の状態ですが、クリスマスには、医療や介護従事者へのエールを込めてブルーライトのイルミネーションを輝かせ、例年より多くの人たちが眺めてくれました。利用者一人ひとりの「今」を大切に、今できる事の中から楽しい事を見つけ、笑って過ごせる毎日にしようと、代表以下職員一丸となって取り組んでいます。家族会も応援団として大きな力を発揮し、不要不急の外出・外食を控えてコロナ感染を抑止し続けてくれている職員に感謝の声が寄せられています。、マイケルジャクソンの「ヒールザワールド」の曲からつけた会社名。この曲が伝えている「すべての人たちのために、いい場所に」がここにあると思うホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「Be smile Be happy(笑顔で幸せに！)を理念としています。「ここに来てよかった」「あなたに会えてよかった」「生きていてよかった」いろんな「よかった」を応援し、地域の自治会、子供たちの協力を得て、夢叶う明日に向けて取り組んでいます。	会社の名前「ベタープレイス」は、マイケルジャクソンの「ヒールザワールド」の曲からつけました。この曲が伝えている「すべての人たちのために、いい場所に」の思いが込められています。代表の揺るぎない姿勢と考えは、現場に浸透しています。理念も「Be Smile・Be Happy(笑顔で幸せに！)」と掲げ、出逢ったみんなの「夢叶う明日」を代表・管理者以下職員一丸となり実践しています。コロナ禍で何かと制限の多い毎日ですが、「今できる事の中から楽しいことを見つけなければ！笑って過ごせる毎日にしなければ！」と奮闘しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2020 年は新型コロナウイルスの影響で地域の方と一緒に行事を行うことができませんでした。でも、できなかったからこそ気づけた事もあります。 今までの様に大きな行事はできないけど、小さく時間も短く各フロアですること、距離が近く一緒に楽しめることもわかりました。 そして、地域の人や家族とする行事の楽しさや、あたり前になりすぎて、「やらないとあかんから」と思っていた行事を「皆でパーとやりたいね」とまた思えるいい機会になりました。 いつか、前の様にはできなくても皆で「めいの家」で何かできたらいいなと思っています。	「地域と共に」の思いを込めて、地名の五月が丘から命名した「めいの家」は、地域にとってなくてはならない存在の事業所となっています。自治会の防災用の水を預かり、地域に貢献しています。これまで、家族や地域住民の協力の下、夏祭り、文化祭、クリスマス会、餅つき等、年間を通してさまざまなイベントを企画し、地域住民や子ども達に喜ばれてきました。 コロナ禍でイベントは中止の状況ですが、クリスマスには医療・介護従事者へのエールを込めてブルーライトのイルミネーションを輝かせ、例年より多くの方々が見物しました。ホームの実践は、地域からも理解・支持され、「認知症って特別ではないね」との理解にも繋がっています。	コロナ禍が落ち着いたら、長年積み重ねた認知症ケアの知識や技術を、地域の認知症に対する啓発に活かす活動が、今後一層広がることが期待されます。地域住民や子ども達も、めいの家のイベント再開を楽しみに待っていることでしょう。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	コロナウイルス感染防止で何もできない中、これだけとはクリスマスイルミネーションは全員で設置しました。 医療へのエール、ブルーライトで、そして遠くからでも見えるように5mのクリスマスツリーに電飾を。11 月末に全員で飾り、1ヶ月遊びに行けない地域の方々に見ていただけたら、少しでも心癒される時をと願いを込めて。12 月 25 日までの 1 か月間で週末ずっと来てくださった方もいて、夜駐車場で子供達の声が響きました。いつもより多くの方が来てくださって「暖かい気持ちになりました。」「充分クリスマスを味わいました」等うれしい声をたくさんいただき、とても嬉しかったです。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルスの為、開催はできていません。	運営推進会議は2か月に1回、家族会役員、地域住民代表、地域包括支援センター職員、グループホーム主治医、訪問看護師、ホーム職員等がメンバーとなり話し合ってきました。コロナ禍で会議は中止の状態ですが、会議中止の知らせを送る際には、ホームの状況や利用者の暮らしがわかる写真入りの「メイズタイムス」を参加者全員に送っています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	グループホーム部会がリモート(Line等)で行われ、参加しています。	市担当者とは都度連絡をとれる関係を築いています。市内のグループホーム連絡会でも様々な取り組みを実施していましたが、コロナ禍で中止の状況です。現在、連絡会はリモート(LINE)で実施し、活発な情報交換ができています。在宅で生活している入居申し込み者の家族がコロナに罹患した場合何ができるかに取り組み、市の補助金交付の成果が得られました。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	今年は皆で集まっての内部研修ができずでしたが、書類を配り周知しています。	「身体拘束ゼロの実現をめざします」とマニュアルを作成し、研修会を繰り返し行って、身体拘束をしないケアを実践してきました。今年は皆で集まっての研修ができなかったもので、資料を配布し周知しています。センサーを使用する際は、安易に使用せず、職員間で目的を共有し合っています。代表は「お口のセンサーがあるから呼んでもらったらい」と職員に伝えています。 代表は、コロナ感染予防のため、不要不急の外出・外食を控えて生活する職員のストレスを考え、ステイホームを楽しめるようにビールや美味しい米を職員に贈りました。職員は、代表の心遣いに、自粛疲れも吹き飛び、元気になると思っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修には参加できなかったのですが、職員でグループワークを行い、意識をもって取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員に制度を理解してもらえるよう話し合いをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書を見ていただき説明しています。理解を得られるまで細部に渡り説明し、幅広い情報の提供を心がけています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族さんともなかなか会う機会がなく、面会も予約となりました。面会時に職員も付き添い、日常の様子を伝えたり、日々どう過ごしているか、なかなか会えない分不安も多いと思うので、できるだけ伝える様にしています。 面会以外にも、電話で日々の様子を伝えています。	家族会があり、サークル活動や行事を通じて、家族同士や職員との交流が行われてきました。一泊旅行や年間の行事・大掃除等にも多くの家族が参加し、家族会主催の勉強会も開催していました。現在、コロナ禍で家族が参加するすべての活動や行事が中止の状況です。面会の方法は、玄関でのシールド越し、せめて顔が見られるようにベランダと外、駐車場で等、主治医と相談しながらコロナの状況をみながら工夫しています。面会ができない家族への気持ちに配慮して、利用者の暮らしぶりがわかる写真入りの「メイズタイムス」を、利用者のキーパーソンだけでなく、他の家族全員に送っています。家族会もホームの応援団として大きな力を発揮し、不要不急の外出・外食を控えてコロナ感染を抑止し続けている職員に感謝の声が寄せられています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主に職員会議・各フロア会義で意見を聞くようにしています。又、管理者は個別に職員と話し合いも行っています。	コロナ禍で集まっていた会議ができなくなり、Zoom を利用したリモート会議を実施しています。リモート会議では職員みんなが発言するようになり、また、一人ひとりの話をよく聞くようになったプラス面がみられるようになりました。年末には、他職員から「良いところ・尊敬するところ・好きなところ」「苦手なところ・直してほしいところ・悪いところ」の評価を記入してもらい、自分自身を再確認する機会ともなっています。年間の多くの行事は、職員が主体的に取り組み、利用者と一緒に楽しみ、「利用者の笑顔」が職員の働く原動力ともなっています。家族会の支持や応援も職員の士気を高め、職員の定着に繋がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	今後、職員個々の努力や実績等を把握、査定することが出来るよう基準作りをしました。各自が向上心を持って働けるような職場環境の整備に努めていきたいです。今年も全職員の良いところ悪いところアンケートを実施し、個別に話し合っています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は中止し、夏をすぎて回覧で研修するようになりました。年明けにはやっ と職員と個々に面談します。今年 1 月に 介護福祉士の試験を受ける者がいます。 全体で支え、研修にいきました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と 交流する機会を作り、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通 じて、サービスの質を向上させていく 取り組みをしている	交流はすべて Lineで行われています。コ ロナ感染のことが多いです。あとは行事 をどうしているか、人手不足をどうしてい るか等を話し合っています。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困 っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、本人の安心を確保す るための関係づくりに努めている	面接時より担当になるCWが細かく、本 人の希望・夢・生活歴を聞き取り、入所か ら 1 ヶ月を目途に、本人・家族・職員と担 当者会議を行い、ご家族と共に本人の安 心を確保するように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等 に耳を傾けながら、関係づくりに努め ている	家族の思い・考え方・希望問題点等を聞 き取り、日々の生活を共に考えるようにし て、信頼関係を築く努力をしています。何 でも言い合える関係作りを目指していま す。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入念な聞き取りをします。常に必要なことは何か、最優先することは何かを、広い視点で考えるよう努めています。その上で、日々の変化等をスタッフ全員で共有し、一日も早く落ち着いた生活ができるよう見守っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自慢できること・得意なことは、皆に教えてもらい、苦手なことは、皆でサポートする関係を大切にします。洗濯物量や洗い物、食事準備や掃除、得意なこと等、役割を持ち取り組んで頂いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	今年は一緒に行事を楽しむことができなかったもので、メイズタイム等で行事の写真を送っています。身体状態、生活全般の不安・質問等については、電話やメール、面会時に聞き取りを頻回に行うようにしています。信頼関係を築いていく努力をしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会うことができない事が多く、利用者さんそれぞれにお手紙を書いてもらい家族さんに送ったり、今年初めて、利用者一人一人の年賀状を作り、メッセージを書いてもらって送りました。	毎日の外出や、地域やホームの行事を通し、隣近所とも新しい馴染みの関係ができ、子ども達の成長ぶりを見ることも、利用者の楽しみとなっていました。現在、コロナ禍で馴染みの人たちとの交流ができない状況です。会いたい時に会えない日々が続いたので、今年は利用者一人ひとりの写真入りの年賀状を送りました。離職者が少なく、利用者と職員の馴染みの関係ができていることも、質の高い個別支援に繋がっています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	いつも利用者同士の仲に入って口を出さないようにして、個々の関係を大切に見守っています。又、コミュニケーションが行き違わないよう援助することを心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今年は会う機会がありませんでしたが、メールや電話、ホームページやインスタグラムを見てくださったり、クリスマスカード・みかんを送ってくださったりと変わらない関係が続いています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントシートにある項目を、担当職員がゆっくり聞き取る所から、一人一人の夢や、これからの生活に対する希望を探し、夢叶うよう支援しています。	「地域に根ざし心豊かに暮らしていこう。行きたい時に行きたい所へ、食べたい時に食べたいものを食べる。夢に愛される場所、夢叶う場所」の方針を掲げ、利用者一人ひとりの思いを大切に支援しています。職員の業務表や一日の流れ等のマニュアルはなく、「日常を決めるのは利用者」の考えの下、利用者の自由な暮らしを支えています。入浴での利用者との時間は、利用者の思いが聞ける貴重な時間になっています。 コロナ禍で買い物にも行けない暮らしが続いていますが、インターネットで服を選ぶ楽しさを味わってもらいました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシートにある項目を担当職員がゆっくり聞き取り、見えてきた生活歴・性格などから、家族と共に考える時間を持つようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全員、日々の過ごし方はさまざまなので、一人一人に対応できるよう心がけています。又、日々訴えもさまざまなので個別に聞き入れる余裕を持ち対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本筋は「本人の夢を叶えること」。家族の要望も含め、今一番大切なこと、今一番必要なこと、楽しく暮らすための課題を常に探しています。	「本人の夢を叶える」を基本視点とした介護計画は主に日常的に支援している内容で作成しています。専門用語は使わず、簡潔で利用者・家族にも分かりやすい計画内容です。散歩の途中で「ステキな思い出ね」との利用者のひと言から、短期目標が「ステキな思い出を作る」に変更になったケースもあります。計画作成担当者は、コロナ禍で会えない状態の中、会わないと理解できないことでも、家族にどう安心してもらうかが課題と捉え、課題解決のため努力しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録はもちろん、連絡ノートを活用しています。又、問題がある場合は、早急に集合し、全員で話し合うようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに対応することはできない年でした。 行きたい所、食べたい物、会いたい人、全てを我慢する一年だったと思います。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年は外出できませんでした。出かけられない分、室内で楽しむ・散歩に行くことを大切にしました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各階月に2回、往診ドクターの診察があります。歯科・鍼灸の訪問もあります。又、精神科・皮膚科・眼科等は地域のかかりつけ医を作っています。家族と職員が同行し、安心して受診できるよう配慮しています。また、セカンドオピニオンも行い、より適切な医療を受けられるよう支援しています。	毎月2回協力医の往診を受け、往診の結果はその都度家族に報告しています。訪問看護師による健康管理も実施し、夜間でも相談できる体制ができています。歯科・鍼灸の訪問診療もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医師と訪問看護師との連携と、「いつもと違う」という介護士の状態変化の気づきを大切に、少しでも早く適切な診察が受けられるように、一丸となって努力しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療連携医の最終判断により、入院を決定することが多いですが、入院後は家族と職員が常に連絡を取り合い、入院先の治療医の意見・経過等も一緒に聞き、一日も早い帰所に向けて、積極的に支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、Drより指示のあった段階で家族と話し合いを重ね、Dr・Ns・CW・家族(本人)同席の元、方針を決定しています。そして、職員全員でそれぞれの看取り方を考え、進めます。又、延命するかどうか、看取りについての希望確認書を入所時に家族に実施しています。希望確認書の意向の変更は随時可能で、話し合いの際にも意向の確認をし、ケアに反映しています。	終末期に関しては看取りについて入所時に希望確認書を家族に実施しています。その後の意向の変更も医師・看護師・本人・家族・職員同席のもと話し合い希望に添うようにしています。事業所で看取りとなった時には、職員全員が集まってきます。今では、「最期の瞬間が自分の勤務の時で良かった」と思えるようになりました。また、ホームでの看取りは、「いつもと一緒の日常の中でおきること」の考えを職員は共有しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナウイルス感染症についての話し合いが一番多く、発熱の場合、体調不良の場合、まず何をするか、誰に連絡するか等初期対応を話し合い続けました。職員が発熱した時の対応も同様に話し合い続けています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年は、6月・11月に消防訓練を実施しました。消化・避難・通報の訓練に加え、地震発生時にはどんな事が起き、どう対応するかも訓練しています。	火災や地震の災害対策のマニュアルを作成しています。今回はコロナの為、消防署立ち合いの訓練は実施できませんでしたが、消防訓練は連絡をとり実施しています。 避難の際はベランダから降下機、または非常階段を使用します。各階に準備した非常食・備品の中には、利用者の内服薬の明細書も入れています。また、事業所の玄関横にミニコンビニがあり消費期限の長い飲み物やお菓子、ラーメン類が100円で購入でき、これも災害時には活用できます。	今回はコロナの為、消防署立ち合いの
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の思いを実現すべく、情報収集し、常に何を願い、求めているかを知るための努力をしています。常に敬語ではありませんが、その人の一番落ち着く丁寧な言葉で話します。	利用者の日々の情報を記録し、全員が目を通してサインをしています。利用者の呼び方は、家族とも相談し、利用者が一番気楽になる呼び方で呼んでいます。個人情報やプライバシーの研修では、日常の中で当たり前になっている気になる言動がないか検証しました。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	忘れてしまうことが多くなってくると、なかなか、以前していたことや、したいことが言葉になって表れません。付き合いが長くなると「この人はこうだろう」と分かった気になってしまいます。出来ないと思っていたことができたり、まだまだ知らない事が沢山あります。会話の中から、やりたいこと、好きなものなどを引き出し、一緒にできる様にしています。日々の生活の中で洗濯物をたたんだり、家事も一緒に行います。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食は、起きて来られた方からで、特に時間は決めていません。昼食は12時に席につきますが、それも決まりはありません。夕食も、お腹がすいたら…という感じです。 入浴は入りたい時間に、日にちも特には決めていません。ベースになる個々の生活を把握し、それぞれの日常と関わりをゆっくりと過ごしてもらっています。 めいの家には定められた必要なマニュアル以外にマニュアルはなく、業務表や職員の一日の流れもありません。日常を決めるのは常に利用者です。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	コロナが増えた時期は訪問美容ができずでした。タイミングをみてカットのお願いをしています。 洋服等も家族も職員も買いに出かけられないこと多かったので、インターネットで一緒に選んだりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今までできていた一緒に盛り付けたり、お米を研いでもらったりができなくなりましたが、洗い物をしてもらったり、メニューを作る時に「何が食べたい？」や、誕生日のメニューをその人の好きな物にしたり、一緒に考えています。	職員が月替わりで利用者の食べたい物など好みを聞き昼食と夕食メニューの献立作りにつなげています。朝食は一人ひとりの起床時間に、パンやお粥等、希望に合わせて準備します。希望があればビールを楽しむこともあり、また手作りの寿司の日も設けています。誕生日は本人の食べたい物を聞いて楽しめるようにしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取表は毎日つけています。食意が低下した人、体調の悪い人がいた場合は、食事量も記録しています。水分は、好みがあるので、その人それぞれに応じた飲み物を提供しています。その人に応じた水分量をDr.・Ns.と相談し、対応しています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週火曜日、訪問歯科医・歯科衛生師が往診します。必要な方は見てもらいます。又、方法等を教えてもらい、日々の口腔清拭はCWが手伝っています。個々で、歯ブラシの形状も洗い方も違うので、できないところはCWが手伝い清拭保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	テープ止めのおむつ常時着用の方は一人もいません。全員下着はパンツ着用、尿漏れのある方はパンツの中にパット使用、尿意のない方・定かではない方は適時トイレへの誘導を行っています。一人一人に合った物を探し、気持ちよく日々を暮らすため、排泄の工夫は一丸となっています。	職員が毎年、バリアフリー展に参加して、個々にあった排泄用品を検討しています。違和感なく気持ちよく生活してもらうために水様便を吸収するパット、消臭効果のあるパットなど一人ひとりに合ったものを探し、職員が一丸となって排泄の自立に向けて取り組んでいます。トイレ支援では同性介助にも配慮しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	まず、食物繊維の多い食事、足りないところは、ごまきなこ・牛乳・バナナ・芋類・オリゴ糖・ヨーグルト等を楽しんで食べてもらうようにしています。お茶は、ごぼう茶・もろこし茶・てん茶などで便通を促しています。適度な運動(散歩)の促し、十分な水分摂取を意識して行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっていません。Dr.からの指示のない方は、週に2～3度は最低入ってほしいと思って行っています。意思決定できない方は促しますが、決定できる方においては入りたい時対応です。ただ入浴するのではなく、入浴中にしか聞けない話などもあり、ずっと同じ職員ではなく、色々な職員が介助に入れる様にしています。足元がちゃんと見える様、乳白色以外の入浴剤を揃えてあります。	入浴を楽しみ、より寛いでもらうために、2階は富士山の絵、3階は魚のシールで水族館のように設えています。入浴日は決めず、週2～3回入っています。意思決定できない方は促しますが、決定できる方においては入りたい時に対応します。同性介助にも配慮し、入浴が嫌いな方の場合はお湯の中にアヒルなど浮かべて気分を盛り立てる工夫もしています。利用者持ち込みの好みのシャンプーやボディシャンプー・固形石鹸等もあり、入浴においても個別ケアに取り組んでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	意思決定できない方においては、午前・午後と休息時間をもうけています。夜は2時間を上限とし、その方の体調や状況に合わせた頻度で巡回し、眠れない夜が続けば、ホットミルクなど一緒に飲んだり、話をしたりして過ごします。意思決定できる方は促しで、後は本人の生活習慣に合わせています。ベッドカバーなど本人の好きな色・好きな柄にして、安眠できる様工夫しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬がどんなに怖いことかをホームDr.から話してもらい、利用者の薬に興味を持てるようピルブックも各階に置き、処方箋も必ずしっかり眼を通し、薬に変更があった時には個別記録に記載し、周知徹底しています。服薬マニュアルを全職員参加で作成し、誤薬防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗い物や洗濯物たたみ、洗濯物を干したり、リビングだけでなく居室のお掃除、掃除機をかけてくれたり、一人一人得意なことが違います。無理にお願いはせず、一緒に行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年は外出が全くできませんでした。近くのコンビニすら行けない。そんな中でも、できるだけ早朝等の人の少ない時間帯に散歩に行くようにしています。 イルミネーションの間は、夕食後見に行ったり、ベランダからのぞいたり。外に出て少しでも季節が感じられたらと思っています。	コロナ禍の中での散歩は、子ども達の登校前や夕方等、密を避けて行っています。今年は外出できなかった分、おやつを一緒に作ったり、歌を唄ったり、オリジナル体操で踊ったり「笑って過ごす」という目的につながっています。初詣にも行けなかったのも、ホーム玄関横に鳥居と賽銭箱を手作りして、お参りしてもらいました。小さな行事を各階で行うことで、今まで気付かなかった利用者の表情の新しい発見もありました。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全ての金銭管理は事務所でしています。出掛ける時、必要な物を購入した時は、領収書で、月一度家族に報告します。出掛けた時、利用者によっては財布を自分で持ってもらこともあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は、家族さんから「様子はどうか」と連絡をもらった際にかわったり、訴えがあった時に利用しています。 ケアマネージャーが定期的に連絡をいれ、様子を伝えています。		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	今年は、壁・床の張替えがあり、だいぶ部屋のイメージが変わりました。 あとは一年中換気することも日々の中に入れ、1時間に2回必ず空気を入れかえる様に、職員だけでなく利用者也窓を開けたりと心がけています。 少しガタが来ていたテーブル・椅子も新しくなり、個々に合ったクッションを使い居心地の良さを追求しています。	昨年10月11月に2階、3階の壁・床の貼り換えを実施しました。利用者自ら古い壁紙を剥がす人、剥がしたものを掃除する人と職員と共に作業を楽しみました。出来上がりは各階、違う色彩で明るく手作り感があります。利用者が自分たちで綺麗にした達成感は、色々なことを「自分たちでやる」という自立に繋がりました。自分たちの家だから汚さないとの気持ちも強くなっています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで一人になることがあるとすれば、皆がご自分の部屋に帰ってしまった時だけです。CWと2人で話したい、利用者同士で話をしたい、一人になりたい時は、リビング横の事務所か、それぞれのお部屋を使っています。また、ご本人専用湯呑・茶碗・箸を使用することや、慣れた席がご自分の席だと覚えられることで、リビングにも自分の居場所があると思っていたできればよいと考えています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ほとんどの方が、今まで自宅で使っておられたダンス・鏡台等を持って来られています。きれいに片づいているだけが良いと思わないので、いろいろな所に支えがある、物のいっぱいある部屋が落ち着く方もいます。それぞれの方の今までの生活を知り、一緒に考えています。	新しく入居した人は、壁紙のリフォームに際し、自分でお気に入りの柄を選ぶことができます。入居して馴染んだ頃に柄を選んでもらうよう配慮しています。このことによって自室を認識でき居室の間違いが少なくなっています。表札は手書きです。自宅で使用していた家具を持ち込み、冷蔵庫や仏壇を持参している方もあります。ベッドや椅子も利用者の状態に合わせて借り受けることもできます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の出入口は少しスロープになっているし、浴室は段の大きな階段になっていたりするので、バリアフリーではありません。その度声をかけながら生活しています。特に個別の道具の工夫はありませんが、「職員がそばにいること」「職員が声をかけること」が安全に繋がればと思います。		

